

「あるニュースから」

神奈川県 平塚市立金目中学校 2年 おおつか大塚 だいじゅ代樹

私は、7月の月上旬あるニュースを見て土砂災害に対する意識づけが変わった。

私は、避難勧告で避難したこともなければ、避難誘導もしたことがない。だが、7月の月上旬、あるニュースを見つけた。まず一番最初に目に入ってきたテロップは

「避難呼びかけ中・・・市議が死亡。」

というものだった。そして、真っ先に頭によぎったのは背徳感だった。何ぜかという、自分のように避難をしない人がいたから避難を呼びかけていたのではないかと思ったからだ。詳しく動画を見てみると、その地域では線状降水帯が相次ぎ発生していた。そして、その議員は避難を呼びかけている最中に土砂崩れに巻き込まれ死亡したという。その議員の知人は議員の人柄について「自分のことじゃなくても、人のことを一生懸命になる方。」

と表現している。市議会でも地域の防災対策について提言していて、地域活動にも積極的だったという。その時、私はとてもではないが身近な事故に感じた。人のために人が死ぬ。例えば、溺れている子供を親が救助を試み、溺れて亡くなる。これを救助死というらしい。今回の件も似たような事故に感じた。だが、土砂崩れが原因というのは聞いたことがなく土砂崩れという言葉がさらに関心を惹いた。

これをきっかけに土砂災害について調べることにした。まず自分の地域の土砂災害事情を知ることにした。すると、土砂災害ハザードマップが出てきた。見てみると、周りの地域と比べ自分の住んでいる地域のほうが土砂災害警戒区域と土砂災害特別警戒区域の分布が多いように感じられた。この2つの区域は、がけ崩れや土石流を含む土砂災害の発生するおそれがある区域を指定したものだという。実際に亡くなった議員が活動していた地域も似たような形で警戒区域と特別警戒区域が分布していたため、改めて自分の住んでいる区域に土砂災害が発生する可能性があることを再認識させられた。他にも調べていくと、すさまじい破壊力をもつ土砂が一瞬にして人命や住宅などの財産を奪ってしまう恐ろしい災害という文を見つけた。ここで初めて起きてからどうこうではないことを知った。だから、土砂災害が起きる前という言葉に重点を置き調べてみることにした。すると、様々なサイトが出てきたが自分なりに一文でまとめると、土砂災害の怖さや自分の地域の土砂災害事情について知っておくことが大事というように感じられた。例えば、土砂災害は雨だけでなく、地震や火山活動でも引き起こることを知っているだろうか。さらに一週間前の雨が土砂災害を引き起こす原因にもなりうることを知っていただろうか。私は初耳である。私は調べれば調べるほど、興味を持ち土砂災害の危険について知ることができた。これは、土砂災害による被害の拡大を防ぐ1つの方法ではないだろうか。

私は今回の議員の事故がなければ、土砂災害について触れることはなく、自分自身も事故に巻き込まれていたかもしれない。だから、これを読んだ人に土砂災害について触れるきっかけになったら良いと思った。